

いさおだより

2 月号

平成 26 年 1 月 31 日

和歌山市立有功小学校



世界に一つだけの花



先日、テレビを見ていると、スマップというグループの『世界に一つだけの花』という曲が流れていました。学校でも「みんなのうた」としてよく歌われる、とてもいい曲です。その歌の言葉を改めて、よく噛み締めてみると、生きていく上でとても大切なことを教えてくれています。

「花屋の店先に並んだ いろいろな花を見ていた
人それぞれに好みはあるけど どれもみんな綺麗だね
この中で誰が一番だなんて 争うこともしないで
バケツの中誇らしげに しゃんと胸を張っている。」

この歌にある「花」のように、人間もみな違っていています。同じ顔の人は一人もいません。背の高さも、性格も、ものの感じ方、考え方、体力、食べ物の好みも違います。学校は、一人一人のみんなが、人間として大切な力をしっかりと身につけていくところです。本校では、1年1組から6年2組まで、かがやき学級、なかよし学級の14のクラスがあります。そこで、みんなが自分の持てる力を十分に発揮し、それぞれが一生懸命にがんばることが大切です。

「それなのに僕ら人間は どうしてこうも比べたがる？
一人一人違うのにその中で一番になりたがる？」

一人一人違っていているのに、ついそれを忘れて無理をしたり、苦しんだりしています。また、人を傷つけてしまったりしてしまいます。みなさん、一人一人が唯一無二、本物で大切な存在です。自分を大切にしていって、一生懸命に生きている姿がすばらしいと思います。人間の値打ちは、勉強ができるから、スポーツができるからだけでなく、もっと大切なこと、自分の目標に向かって一生懸命にがんばること、みんなのために思いやる心、自分に素直に生きることだと思います。

「そうさ 僕らは世界に一つだけの花 一人ひとり違う種をもつ
その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい。」

有功小学校は、どの子にとっても明るく楽しい学校であり、一生懸命であり、人を思いやる心を持った子がいる学校でありたいと思っています。

(学校長小林達史)

